

No.	113				モーニングフライト・サンセットフライト	
概要	早朝や夕方に宍道湖岸に出かけ、双眼鏡で飛来する冬鳥を観察する。					
内容	人数(人)	~40人	時間	1~1.5時間		
	対象	フリー	時期	11月~3月		
	場所	斐伊川河口付近				
	指導形態	自主活動 ・ 職員による事前の説明のみ				
安全管理	引率者と担当職員による監視					
ねらい	○ 冬鳥(主にマガン・白鳥)の観察を通して、宍道湖周辺の自然のよさを実感し、環境保全への意識とともにふるさと島根への愛着を高める。					
準備	施設から貸出	双眼鏡、フィールドスコープ、三脚、資料「ぼくたち、わたしたちの宍道湖・中海とラムサール条約」(パンフレット)、「宍道湖・中海探鳥マップ」(リーフレット)、「野鳥カード」(写真) ※必要に応じて				
	団体で準備	活動しやすい服、防寒具				
	確認事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荒天時でもバスの車中や雨具を着用して観察を実施することができる。</li> <li>・ 効果的な活動になるために、上記のパンフレット等を使用し、ラムサール条約などについて事前学習を実施することができる。(本所での事前学習の実施については要相談)</li> <li>・ 研修者の安全管理については団体の責任で行い、話の聞き方や観察のマナー(大声を出さない・野鳥へ近づきすぎないなど)等も事前に打合せをする。</li> <li>・ 鳥インフルエンザの情報に留意し、落ちていた鳥の羽は拾わない。ふんを踏まないように注意する。</li> </ul>				
	内 容	留 意 事 項				
活動前	○ 事前に日の出日の入りの時間を調べ、活動時間を決定する。(モーニングフライトは早朝(日の出)、サンセットフライトは夕方(日の入り)に行う。		○ 荒天時は相談の上、実施判断をする。			
活動の説明	<職員による説明> ○ めあてや活動の進め方の説明を聞く。 ○ 注意事項についての説明を聞く。 ○ 必要な物品を受け取る。(準備物参照)		○ 双眼鏡等の器具の取り扱いについて、十分に注意する。			
展 開	○ サン・レイクバスで斐伊川河口へ移動する。(所要時間は15分程度) ○ 野鳥観察(主にマガン・白鳥)をする。 ○ バスでサン・レイクへ帰る。(車中で振り返りをする。) ○ 貸し出し物品を回収する。		○ 職員/講師は「フィールドマナー」について話をする。 や…野外活動、無理なく楽しさ…採集は控えて自然はそのままにし…静かに、そ〜っとい…一本道、道からはずれないでき…気を付けよう、写真、給餌、人への迷惑 も…もって帰ろう、思い出とゴミち…近づかないで、野鳥の巣 ○ 振り返りは、観察を通して発見したことや驚いたこと、感じたことを発表し合う。  ○ 引率者、職員は安全について十分注意する。			
	 <p style="text-align: center;">&lt;マガン&gt;</p>		 <p style="text-align: center;">&lt;コハクチョウ&gt;</p>			
	 <p style="text-align: center;">&lt;コハクチョウのフライト&gt;</p>		 <p style="text-align: center;">&lt;マガンのフライト&gt;</p>			